

## 第29回寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント 開催要綱より抜粋

### 1. 参加選手数

- (1) 正選手 S級 108名
- (2) 補欠選手 S級 8名

開催2日前までに正選手に欠場がある場合は、順次補欠選手から補充し、残りは予備選手とする。

### 2. 選抜方法

第29回寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント〔以下、「本トーナメント」という。〕開催時にS級に在籍し、品性・技能ともに優秀な選手を次の資格順位により選手選考委員会において選抜する。

#### (1) 正選手の選抜方法

- ① S級S班在籍者。
- ② 過去に開催された寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメントにおいて3回以上優勝し、本トーナメント開催時にS級1班に在籍する者。
- ③ 東京オリンピック自転車競技トラック種目代表選手
- ④ 2020年世界選手権自転車競技大会（以下、「世界選」という。）トラック種目に出場した者。
- ⑤ 2019年8月から2020年7月までの期間に開催された世界選手権自転車競技大会に準じる国際大会のトラック種目に出場し、第1位から第3位となった者。
- ⑥ 第40回アジア自転車競技選手権大会（以下、「アジア選」という。）に出場し、ケイリン競走、スプリント競走で第1位となった者。
- ⑦ 過去に開催されたオリンピック自転車競技トラック種目のメダリストで、第67回全日本プロ選手権自転車競技大会（以下、「全プロ大会」という。）トラック種目に出場予定、かつ本トーナメント開催時にS級1班に在籍する者。
- ⑧ 選手選考対象期間において2ヶ月以上JCFトラック種目強化指定（A）に所属した者（全プロトラック種目出場予定かつ開催時S級1班）
- ⑨ 全プロ大会トラック種目に出場予定の者であって、2020年2月から7月までの期間（以下、「選考期間」という。）における平均競走得点上位者から順次選抜する。
- ⑩ ①～⑨により選抜された者が108名に達しないときは、2019年度地区プロ自転車競技大会の出場者であって、選考期間における平均競走得点を勘案し、選手選考委員会が推薦した者。

#### (2) 補欠選手の選抜方法

補欠選手は、正選手を除く(1)の基準を満たす者であって、選考期間における平均競走得点上位者から順次選抜する。

#### (3) 日本競輪選手会理事長杯及び特別選抜予選競走の選抜方法

##### ① 日本競輪選手会理事長杯（9名）

- ア) 世界選に出場し、ケイリン競走及びスプリント競走で第1位から第3位となった者。
- イ) 本トーナメント開催時S級S班に在籍し、全プロ大会に出場予定の者であって、選考期間における平均競走得点上位者。
- ウ) 本トーナメント開催時S級S班に在籍する者であって、選考期間における平均競走得点上位者。
- エ) 本トーナメント開催時S級1班に在籍し、全プロ大会に出場予定の者であって、選考期間における平均競走得点上位者。

なお、欠員が生じた場合は、上記ア～エの資格順位に基づき、順次繰上げ選抜するものとする。

##### ② 特別選抜予選競走（18名）

- ア) 2019年から2020年にかけて行われる2019～2020UCIワールドカップの各大会（以下、「ワールドカップ」という。）及び第40回アジア自転車競技選手権大会に出場し、ケイリン競走及びスプリント競走で第1位となった者。
- イ) 日本競輪選手会理事長杯に選抜されなかった場合におけるKEIRINグランプリ2019優勝者。
- ウ) 日本競輪選手会理事長杯に選抜されなかった場合における本トーナメント開催時S級S班に在籍し、全プロ大会に出場予定の者であって、選考期間における平均競走得点上位者。
- エ) 日本競輪選手会理事長杯に選抜されなかった場合における本トーナメント開催時S級S班に在籍し、選考期間における平均競走得点上位者。
- オ) 日本競輪選手会理事長杯に選抜されなかった場合における本トーナメント開催時S級1班に在籍し、全プロ大会に出場予定の者であって、選考期間における平均競走得点上位者。

なお、欠員が生じた場合は、上記ア～オの資格順位に基づき、順次繰上げ選抜するものとする。

(4) 同一競走種目間における資格順位について

同一競走種目間における資格順位は、競走成績上位からの順とし、同着又は同一着位の場合は選考期間における平均競走得点順とする。

(5) 選考期間における平均競走得点が同点だった場合の取り扱い

選考期間における平均競走得点が同点だった場合は、同期間における選考用賞金獲得額の多い者を優先することとする。